



5単位

木造回帰が切り拓く建築の未来 ~関西広域木造建築普及促進協議会発足記念事業

木造建築工法に関する近年の法整備とそれともなう普及活動により、身近な建築資材である木材が次第に見直され、木造建築物への関心も高まってきました。その一方で特に中規模以上の木造建築物の計画においては、建築資材として不安定な品質、防火をはじめとする安全性の確保、流通の問題などの課題は多く、確立された工法による均質な工業材料のように一般化されるには到っていません。円滑な建築計画・設計・施工を推進するためには、生産者から消費者、つまり山からまちを繋ぐ、木材資源を有効利用するための情報のプラットフォームが不可欠と思われます。国産材や輸入材、地元産材の枠組みや特定の工法にとらわれることなく、広く木材利用者が容易に情報交換を行い、協業とコミュニティの形成により、木造建築の大規模化、広域化を目指し、古来より使い続けてきた木の温もりや伝統の継承発展を目的として、本事業を企画いたしました。合わせてこの目的を具現化するために(仮称)関西広域木造建築普及促進協議会を発足し、その適切な運営に努めていきたいとの趣旨で懇親会を開催いたします。

日時: 平成 29 年 3 月 30 日(木) 13:00~20:00
場所: 一般社団法人 日本綿業倶楽部 綿業会館 新館 7 階大会場 (大阪市中央区備後町 2-5-8)

参加費: 講習会 無料(定員 150 名) 綿業会館見学 無料(定員 70 名) 懇親会 7000 円(定員 100 名) ※申込先着順

最寄駅: 大阪市営地下鉄御堂筋線 本町駅 徒歩 5 分

後援: 日本建築家協会近畿支部(会場協力)
 大阪府、大阪市、大阪府建築士事務所協会、日本建築協会、関西インテリアプランナー協会、日本建築学会近畿支部、大阪建設業協会、日本建築材料協会、日本建築構造技術者協会 関西支部、日本建築積算協会関西支部、関西建築構造設計事務所協会、滋賀県建築士会、三重県建築士会、京都府建築士会、奈良県建築士会、和歌山県建築士会、兵庫県建築士会、日本木材青壮年団体連合会、京都府木材組合連合会、滋賀県木材協会、兵庫県木材業協同組合連合会、奈良県木材協同組合連合会、和歌山県木材協同組合連合会、大阪府地域産材活用フォーラム (順不同)



【スケジュール】

- 13:00~13:10 **開会挨拶** 中村 暢秀 (大阪府木材連合会 会長)
- 13:10~17:30 **講演** モデレーター: 徳岡 浩二 (大阪府建築士会理事 事業委員長)
 - 13:10~13:40 「木造資源の状況と利用促進」
井口 真輝氏 (農林水産省 林野庁 林政部 木材産業課 木材製品技術室長)
 - 13:40~14:40 「木造建築の普及推進への施策」(仮題)
村上 幸司氏 (国土交通省 大臣官庁官庁営繕部 整備課 木材利用推進室長)
澁谷 浩一氏 (国土交通省 住宅局住宅生産課 木造住宅振興室長)
 - (休憩)
 - 14:50~15:30 「木造回帰が切り拓く建築の未来」
腰原 幹雄氏 (東京大学生産技術研究所 木質構造デザイン工学 教授)
 - 15:30~16:10 「法令改正と技術革新による木造建築の新たな展開」
長谷見 雄二氏 (早稲田大学理工学研究所 創造理工学部 建築学科 教授)
 - (休憩)
 - 16:20~17:30 パネルディスカッション「西日本における木材利用推進のために不可欠な方策」
進行: 五十田 博氏 (京大生生存圏研究所 生活圏構造機能分野教授)
パネリスト: 腰原 幹雄氏、長谷見 雄二氏、
黒田 慶子氏 (神戸大学大学院 農学研究科応用植物学講座 森林資源学研究室教授)
- 17:30~18:00 **重要文化財 綿業会館見学**

綿業会館は 1931 年(昭和 6 年)、日本綿業倶楽部の建物として竣工し、翌年開館しました。設計は渡辺節氏が担当しました。イタリアルネッサンス調でまとめた玄関ホール、ミューラル・デコレーションの装飾天井や透かし彫りのガラス窓が特徴の会員食堂をはじめ、イギリスルネッサンス初期のジャコビアン・スタイルで吹き抜けの天井の談話室など、室毎に異なるスタイルで装飾されています。2003 年に国の重要文化財に指定され、2007 年には近代化産業遺産に認定されました。
- 木材メーカー部材、工法展示(於:グリーンホール)**
展示: 懇親会場の各ブースにて資材、工法等の展示及び個別説明
 木造接合金物、木造断熱工法、木製建材、木造建築にかかわる各種資材 (12 社予定)
- 18:00~20:00 **懇親会** 挨拶: 岡本 森廣 (大阪府建築士会 会長)

参加申請書 (必要事項を記入の上、切り取らずに大阪府木材連合会へ FAX してください。→FAX:06-6531-9184)	
申込内容	<input type="checkbox"/> 講演会 <input type="checkbox"/> 綿業会館見学会 <input type="checkbox"/> 懇親会 (参加を希望するものにチェックを入れてください。※複数選択可)
ふりがな氏名	<input type="checkbox"/> 大阪府木材連合会 会員 <input type="checkbox"/> 大阪府建築士会 会員(所属委員会)) <input type="checkbox"/> 後援団体 会員(所属団体)) <input type="checkbox"/> 一般
勤務先	名称: _____ 所属部課名: _____
	住所:〒 _____
	TEL : _____ FAX: _____ 携帯: _____

講師プロフィール

腰原 幹雄 (こしはら みきお)

東京大学生産技術研究所 木質構造デザイン工学 教授

■略歴

- 1992 東京大学工学部建築学科卒業
- 2001 東京大学大学院博士課程修了、博士(工学)
構造設計集団<SDG>、東京大学大学院助手、生産技術研究所准教授を経て、
東京大学生産技術研究所・教授
- 2012 NPO team Timberize 理事長

■受賞

都市住宅学会業績賞(2013年)、World Monuments Fund/Knoll Modernism Prize(2012年)、
日本建築学会賞(業績)(2012年)、土木学会デザイン賞最優秀賞(油津 堀川運河)(2010年)
第6回 木の建築賞 木の建築大賞(八幡浜市立日土小学校耐震改修)(2009年)



長谷見 雄二(はせみ ゆうじ)

早稲田大学理工学研究所 創造理工学部 建築学科 教授

■略歴

- 1973 早稲田大学 理工学部 建築
- 1975 早稲田大学 理工学研究科 建設工学
- 1975-1983 建設省建築研究所研究員
- 1983-1984 米国商務省国立標準局(現:国立標準技術研究所)客員研究員
- 1983-1987 建設省建築研究所主任研究員
- 1987-1997 建設省建築研究所防火研究室長
- 1997 早稲田大学理工学部建築学科教授
- 2000-2002 福井大学大学院 非常勤講師
- 2004 東京理科大学 COE 客員教授
- 2005 東京工業大学応用セラミックス研究所客員教授

■研究テーマ

建築防災、都市環境

■受賞

日本建築学会賞(論文)(1987年)、国際火災安全科学学会論文賞(1988年)、建設大臣表彰(業績)(1989年)、
日本火災学会賞(1991年)、第3回アジア・オセアニア火災科学技術シンポジウム最優秀論文賞(1998年)、
工モズ賞(1999年)、第5回坪井賞(2003年)、第1回木の建築賞大賞(2004年)、消防行政協力章(2005年)、
空気調和・衛生工学会論文賞(2010年)、2011年ショーリン賞(2011年)



五十田 博(いそだ ひろし)

京大大学生存圏研究所 生活圏構造機能分野 教授 博士(工学)

■略歴

- 1990 東京大学大学院工学系研究科修士課程修了
- 1997 建設省建築研究所主任研究員
- 2004 信州大学工学部准教授 2011年教授
- 2013 京大大学生存圏研究所教授 現在に至る

■研究分野

木造住宅の耐震安全性に関する研究 中層大規模木造建築の開発と性能評価 新材料や新たな構造システムの開発と構造性能評価

■受賞

地球温暖化防止活動環境大臣表彰(2015年)、日本建築学会賞(論文)(社)日本建築学会(木質構造では35年ぶり)(2011年)、
Raymond C. Reese Research Prize ASCE American Society of Civil Engineering(2011年)



黒田 慶子(くろだ けいこ)

神戸大学大学院 農学研究科 応用植物学講座 森林資源学研究室 教授

■略歴

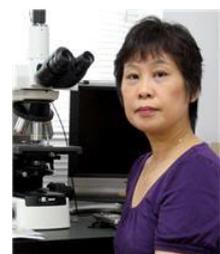
- 1985 京都大学 大学院農学研究科 林産工学専攻
- 1985 農林水産省林業試験場に採用。線虫研究室、樹病研究室に配属
- 1988 森林総合研究所関西支所
- 2005-2007 独立行政法人森林総合研究所 関西支所 グループ長
- 2008-2010 (独)森林総合研究所関西支所 地域研究監
- 2010 神戸大学大学院農学研究科 森林資源学研究室 教授 現在に至る

■研究分野

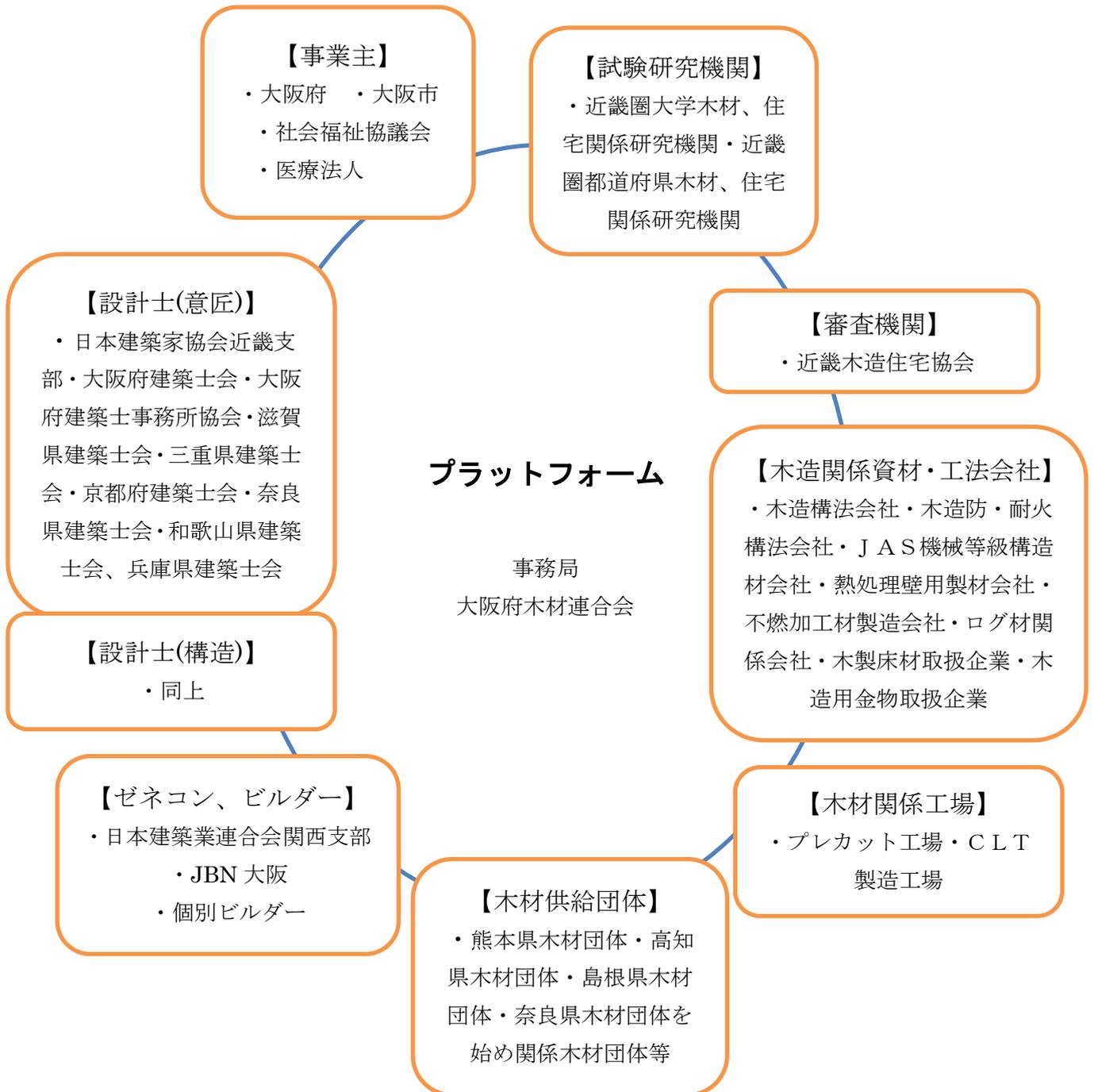
農学/植物病理学、基礎生物学/形態・構造/樹木の機能解剖学、森林学/森林科学

■所属学会

日本森林学会(副会長)、日本木材学会(理事)、樹木医学会(理事)、植物病理学会、日本生態学会、
International Association of Wood Anatomists (IAWA) など



(仮称) 関西広域木造建築普及促進協議会の構成(案)



各グループに参加された団体・企業等は、自らの情報を事務局に提供するとともに、事務局から定期的にプラットフォーム参加会員に提供される他会員の情報を活用し、木造建築等の推進に努めていくことを、各会員の活動の基本といたします。

(仮称関西広域木造建築普及促進協議会規約(案))

第1条 (名称)

本会は、関西広域木造建築普及促進協議会と称する。

第2条 (事務所)

本会の所在は一般社団法人大阪府木材連合会内とする。

第3条 (目的)

近年法整備等により、木造建築物の建築気運が高まっている。しかしながら、特に中規模以上の木造建築物の建築計画に当たり、経験が乏しい施主、設計士、工務店等が多い上に木造建築技術がその開発者であるゼネコン、工務店、メーカー等の一部他に偏在しているなどの理由により、円滑な建築計画の策定、設計、施工が困難な状況となっている。

そこで、これらの状況を改善し、木造建築関係者が容易に情報交換を行うとともに、それら関係者の協業により中規模以上を含めた木造建築物の建築を促進するため、当会を設置し、その適切な運営に努める。

第4条 (組織)

本会は、別添協議会参加者表(案)のうち参加を希望する者(会員)により構成する。

第5条 (事業)

第3条の目的を達成するため、次の事業を行うものとする。

- ① 木材利用技術研修会(断熱木材工法の複数メーカーによる展示説明会等)の開催〔年間3回程度〕
- ② 木材利用技術情報交換会(上記研修会との共同開催など)
- ③ 木材利用資材・工法の情報収集・整理
- ④ 木造建築物施工技術を有する工務店情報収集・整理
- ⑤ その他、本会に提案され、必要であると議決されたもの

第6条 (会合)

1. 総会は年1回とする。
2. 臨時会合は会長の呼びかけにより開催する。
3. 総会の開催には、会員の1/3以上の出席を要する。
4. 本会の決定事項は会合により決定する。

第7条（役員）

会 長 1名 副会長 1名
会 計 1名 幹 事 1名

第8条（役員選出）

本会の役員は総会にて選出し、出席者の過半数の賛成をもって決定する。

第9条（任期）

本会の役員の任期は4月1日から翌々年の3月31日までとする。また、再任は妨げない。

第10条（事務局）

本会の事務を処理するための事務局を大阪府木材連合会内に設け、事務局員を置く。

第11条(会員及び会費)

会員は建築士、事業主、試験研究機関、審査機関からなる「正会員」（年間会費なし）と、本会の趣旨に賛同する上記正会員以外からなる「賛助会員」（月会費1千円、年間会費1万円）により構成する。

なお、賛助会員は総会の議決権を有しない。

第12条(会計年度)

本会の会計年度は4月1日に始まり、翌年3月末までとする。

付則 本規約は平成29年4月1日をもって施行する。